



伊豆の国市 議会だより

2010年11月1日発行
No. 20

編集・発行
伊豆の国市議会だより特別委員会
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913



狩野川100kmサイクリング

9月定例会

一般質問	2
委員会報告	9
議案一覧	12

議員の問いと
行政の答え



一般質問

一般質問は14名が行い、当局の考え方を質しました。

発達障がい者支援事業の
充実について

柴田 三智子

問 障がいが多様化する中で、より専門性の高い人材が求められています。関係者に対するスキルアップのために「特別支援教育士養成セミナー」への参加と、「地域支援ネットワーク」を関係部局と連携し構築するべきではないですか。

答 特別支援教育士は、子供が抱えている現状の課題の正しい把握や、客観的なデータによる適切な子供の評価と支援のためにも必要な人材と考えます。現在は、臨床検査心理士がその役割を担っており、その後、そのような専門的な資格を持った人材を採用し活用して行きたいと考えています。また、

関係者への養成セミナー等についての案内もしていきたいと考えています。支援ネットワークについては、広域的な課題でもあると認識しておりますので、県に働きかけながら進めて行きたいと考えています。

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成について

問 市としての現在の取組み状況と、今年度の検診受診目標値についてと、小中学校で行っている思春期講座の中に子宮頸がん予防教育を加えてはいかがですか。

答 平成二三年度助成に向けて検討しています。

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成については、関係者への養成セミナー等についての案内もしていきたいと考えています。支援ネットワークについては、広域的な課題でもあると認識しておりますので、県に働きかけながら進めて行きたいと考えています。



がん検診受診率は5%アップを目標にしています。小中学生においては、専門家や助産師を招いて教育活動の中に予防についての啓発を組み入れていきたいと考えています。



※「特別支援教育士」とは
子どもの障がいに対する教職員の理解を高め、一人ひとりの子どものニーズに応じた教育を実施するために、各校園内で中心となって、校内研修の企画・運営や教育相談の窓口などの役割を担う人です。

耕作放棄地対策について

鈴木 幸雄

問 伊豆の国市の耕作放棄地の面積、発生防止策、再生利用対策、再生利用の障害である鳥獣害対策、再生の助成事業については。

答 耕作放棄地の面積は、山間部の調査はほとんどしてない。発生防止策は所有者への管理のお願い、規模拡大指向農家への貸付・企業・法人への貸付が有望であり、再生利用対策は国の交付金制度を利用し再生を目指す。補助金の補助率は国が二分の一、県四分の一、市四分の一となっております。鳥獣害対策は、ほぼ年間有害鳥獣の捕獲を実施しており、防護電気柵の二分の一の事業費補助や、被害



耕作放棄地 (宗光寺)

耕作放棄地の面積は二・四ヘクタールで、

防止対策の勉強会を開催しております。

森林事業及び治山事業について

問 森づくり県民税を財源に、荒廃した森林を再生する森の力再生事業が、平成一八年より実施されておりますが市内の実績は。治山事業の実績は。森林ボランティアへの支援は。今後の事業のあり方については。

答 森の力再生事業の実績は、平成一八年から二〇年までに六〇ヘクタール整備されました。治山事業は、県単事業や、県営事業で行っております。森林ボランティア活動に対しては、助成金等の支援は行っておりませんが、活動が円滑に進められるような支援をしております。森林環境学習も小中学校で行っており、今後も県への事業の要望をしていきます。

高齢者が安心安全に暮らせる施策の充実を

天野佐代里

問 高齢不明者が相次ぎ社会問題になっている。

一人暮らしの高齢者を救急搬送する際に役立つ「救急医療情報キット」導入の考えは。

答 既存の高齢者福祉事業との優先順位や効果などを踏まえて検討していきたい。

登録会員同士が支え合う「高齢者支援サポート制度」導入の考えは。



3世代交流パタンク大会

問 隣組などコミュニティの問題をどうしていくのか大いに勉強しなければならぬと思っている。日頃の見守りの中で、市民協働によるシステムづくりを構築したい。

歴史文化遺産や自然環境を生かした活性化策について

知事が非公式に江川邸を視察した新聞記事を目にした。当市は多くの歴史・文化遺産が存在する全国でも特出した地域であり、保存活用には思い切った施策が必要では。活性化策について今後の見解は。

答 今後発足させる史跡整備委員会の指導により、整備方針の策定を進めていく。県のシンボルとなり伊豆半島の交流拠点となるような、後世に誇れる施設を誘致する考えは。

長岡のスポーツワールド跡地が候補地となり、該当の長塚・珍野・花坂三区住民の多くが反対し、交渉は難航している。四月に白紙撤回要求書も提出された。

問 市は、五月に「旧長岡町当時旧大仁町のごみを受け入れる際、広域ごみ焼却場は建設しない旨、花坂区に申し上げたことは承知している。また、約束の重みは十分周知している」と文章で回答している。加えて、住民は長期間にわたる現施設への協力、健康面への影響、新施設の安全性に疑問等の理由で反対している。このため、候補地の見直しが必要と考える。今後の進め方は。

五月に白紙撤回要求書に回答した。これまでの説明会などでは、話を聞いてくれる状況に無いと感じている。交渉は進んでいないが、環境への影響調査を行いたい。また、住民からは、「候補地になったことが理解できない」との意見が多い。疑問に対し理解を求めするため、スポーツワールド全体の跡地利用の考えを早目にまとめ説明したい。

今回の候補地に建設することで話をさせていただいており、これで進めたい。環境への影響調査でどのような結果が出るか。まず、調査と考える。

答 葦山郷土資料館の山木遺跡収蔵物、若舎人の石櫃など重要文化財、北条氏邸跡出土品などを、一体的に展示活用が可能な施設整備について研究して行きたい。今後の問題として国・県にお願いし、きちつと考えたい。

広域ごみ処理施設候補地は住民の反対多く見直しを

古屋鋭治

答

五月に白紙撤回要求書に回答した。これまでの説明会などでは、話を聞いてくれる状況に無いと感じている。交渉は進んでいないが、環境への影響調査を行いたい。また、住民からは、「候補地になったことが理解できない」との意見が多い。疑問に対し理解を求めため、スポーツワールド全体の跡地利用の考えを早目にまとめ説明したい。



伊豆保健医療センター

伊豆保健医療センターにMRI導入発言の真意は

問

導入の必要性と発言の真意等について伺う。

答

MRI整備は、地域医療の充実を果たし、田方地区住民の健康に欠くことが出来ない。総事業費は三億四九〇三万円、負担は田方保健医療対策協会、伊豆市、函南町、当市で行い、平成二三年度から三年計画。負担割合は、人口割り二五%、利用実績割り七五%で算出する。

**大きな旗を掲げましょう
「日本の医療立市を目指して」**

水口 哲雄

問

伊豆の国市の五〇年、一〇〇年先を見据えて

大きな旗（目標）を立てるのは、リーダーの大きな責務です。医療及び経済面で果たしている大きさからして、順天堂病院を核とした医療立市の旗が一番ふさわしいと思えます。医療立市を実現するためにも、市自ら、「医療温泉都市宣言」のようなものを全国に発信する等、イメージ作りが必要と考えますが。

答

近隣市町からすると、すでに充分医療立市とも言えます。今後は、冠をつけるとか、イメージづくり等十分検討したいです。

問

病院周辺の環境整備と信頼関係の構築が大事ですが。

答

交通渋滞の解消が大事であり、十分意思の疎通ができる人間関係を作っていくたいです。



順天堂静岡病院

伊豆長岡温泉開場

一〇〇周年に当たって

問

伊豆長岡温泉のホテル・旅館の現状をどの様に認識していますか。

答

長引く不況の中、休業業が相次ぎ看過できない状態です。

問

一〇〇周年に当たり、不況打破のためイベント等を打つべきだと考えますが。

答

観光協会・旅館組合とも協議し、来年度周年

で誘客宣伝事業を実施したいです。

土地借上料について

板垣 紀夫

問

長期の市財政を勘案すると、借上地を減らし、市有地とすることを望む。公共借地の把握と管理は。

答

基本的には、各担当課が把握し、管理をしている。

問

各部の借入金額は。

答

左記の様になっている。

担当部	借入件数	借入金額
企画部	5件	14,846,000円
総務部	6	1,377,000
観光産業部	17	6,778,000
都市整備部	8	4,071,000
環境部	9	8,855,000
教育部	21	42,269,000
福祉部	4	5,916,000
市民部	2	1,587,000
合計	72件	85,699,000円

問

土地借入料の算定基準は。

答

基本的には、不動産鑑定評価額や固定資産評価額、近隣の市有地の借地実例を勘案して算定している。

問

借地契約の単価見直しは。

答

幾つかの見直しは、行っている。しかし、種々の条件があるので、今後慎重に検討をしていく。



葦山南小学校

問

市公有地との等価交換の検討は。

答 土地貸与者の希望があれば、交換もあり得るが、今のところは無い。

問 借地取得の財源確保は。

答 市の未利用地を積極的
に公売し、得た収入を
財源としたい。

災害時対策について

鈴木照久

問 地域防災計画等の見直しと進捗状況は。

答 初期救護体制をより実践的なものにするために、医師会と関係スタッフの初動指針と救護活動の基本的方針を明確にしたマニュアルを策定しました。

見直しすべき点とし、地震と水害では災害状況も異なるため、対応方法も変わり難しい問題もありますが、現状に即した内容で見直しを進めています。



中学生も参加した防災訓練

問 救護所開設と昨年八月二日の対応状況は。

答 平成二〇年八月に策定された医療救護計画では、震度五強以上が観測された場合、各保健センター三ヶ所で開設する事になっていました。

昨年八月に震度五強の地震が観測され、医師二名がテレビ等の情報により救護所に駆けつけていただきましたが、現実的には電話が使用できず、正確な地震情報や管理体制の動向の情報発信が出来ない状況であったため、救護所開設

には至りませんでした。

救護所における職員の配備体制は、地震・水害のどちらの対策を中心に体制を取るかが今後の課題であります。

災害時の拠点病院と搬送対策について

問 拠点病院は。また市民への周知方法は。ヘリポートの対策の現状は。

答 拠点病院は、伊豆保健医療センターと協定を締結しています。周知については徹底を図ってまいります。ヘリポートは、市内八ヶ所に予定しております。大型機種・離着可能四ヶ所、中型機種は、八ヶ所全て可能です。

田京セブンイレブン付近の県道に横断歩道の設置を

三好陽子

問 内科・歯科医院が開業し、高齢者など行き交

う市民が増加している。田京区からも市へ要望が出されたが、様々な方々から横断歩道の設置要望が寄せられているが、可能性は。

答 要望は十分理解しているが、設置に必要なたまり場の確保が難しく、コンビニ・病院の駐車場の出入り口付近の横断歩道は、児童・生徒などを渡らせることは危険である。県道整備または県道に隣接する現状の環境が変わった段階で、安全性が確保され、警察当局との協議が整えば新設も可能ではと思う。



田京セブンイレブン付近

旧大仁東小学校など廃校の活用は市民の声の反映を

問 廃校の活用は、検討委員会を設けて検討するとのことだが、進捗状況は。

答 田中山分校と高原分校は、文化振興を目的とした施設として活用していく方針である。大仁東小学校は、その立地から農業体験や就農する方の教育の場としての施設としていきたい。

問 廃校の活用については、市民から意見やどうなるのかの問い合わせなどがある。広く市民に意見を募る必要があると思うが。

答 まずは行政がどうすることが市全体の利益に繋がるかを考慮し計画を立てることが重要である。大仁東小学校は、要望団体とも調整しているが、必要があればご意見を伺うこともあると思う。

平和都市宣言にかかわしい
事業の推進を

高橋公一

問

今後の取り組みで次の点は。①八月に限り、本庁や支所に懸垂幕や横断幕の掲出ができないか。②広島市平和祈念式典に中学生の派遣は考えられないか。③戦争の悲惨さや平和の大切さを訴えるパネル展やアニメビデオの上映ができないか。④市での街頭啓発活動を行う考えは。

答

①懸垂幕や横断幕の掲出は、長岡庁舎前の工事完了後に、周知方法の形態や時期も含め検討したい。②広島市の平和式典に中学生の派遣を市としても教育委員会としても考えていない。③パネル展やアニメビデオの上映は、議会や教育委員会とも協議し、具体的な方策を検討していきたい。④市内での街頭啓発活動は行わない。

広域一般廃棄物処理施設
事業の抜本的な見直しを

問

候補予定地である長岡区住民の反対意思は極めて強いが、当局として次の点はどうか。①市長自ら地元の説得にのりだすとの事ですが、納得させるだけの施策は。②循環型社会形成の為の施策、市単独の小規模施設への転換、候補地選定基準の見直しは。③国に対し拡大生産者責任の原則を提起する考えは。

答

①ごみ処理施設のマイナスイメージより今後生み出される地域の活性化や雇用の創出についての話し合いの機会にしたい。②大型焼却炉の導入ではなく、広域化によるスケールメリットを生かした施設にしたい。市単独での施設整備は考えていない。③一般廃棄物において、リサイクル関連法のもとで、循環型社会形成を目指しているの

で、国の考えている拡大生産者責任の原則について問題提起する必要は感じない。

※拡大生産者責任

製品の生産者が、その製品の再利用や処理についても責任を負うという考え方。

※スケールメリット

規模を大きくすることで得られる利益



談合させない公平公正な
入札制度に

田中正男

問

六月入札の談合情報通りの結果は、談合の疑感が極めて高く、入札制度の改善が必要と考える。

昨年度一〇〇〇万円以上の

の土木工事二九件の内、Aグループ一三社が一八件を、B

グループ一三社が七件をそれぞれ同じ顔ぶれで入札し、各社が一回か二回を落札している。

これでは談合されやすい指名ではないか。市外の業者も入れた入札にすべきではないか。また、各入札結果をホームページで公表を。

答

五〇〇〇万円以下の工事は市内業者の育成の立場からグループに分け指名している。結果公表は管財課窓口で閲覧できるので、あえて広く知らせる必要はないと思う。

浮橋温泉故障の原因究明を

問

温泉の提供開始後一年半で故障し、ポンプ交換となったが、原因は何か。

答

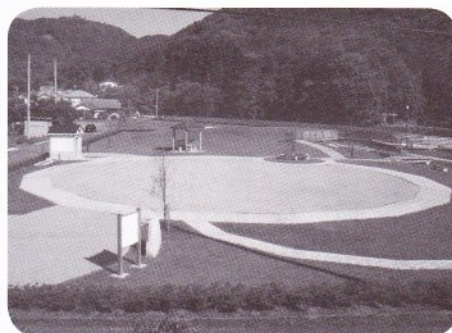
いずれもモーターの絶縁不良でコイル部への浸水が原因。今後も検証を含め試験運転を継続する。

反射炉自然公園に遊具と
木陰と駐車場を

問

市民が利用しやすいように遊具などの設置を。県が国の補助を受けた事業のため会計検査対象で、五年間は大規模な変更ができない。

答



反射炉自然公園

公共用地を
調整池化する考えは

渡邊俊一

問

昨年九月議会で洞川の調整池について質問しましたが、県との調整が難航しているのか、進展が見られ

ません。調整池の役割は、河川に流れ出るまでの時間遅れを作る事です。少し見方を変え、耐震工事の終わった保育園、幼稚園、小・中学校のグラウンドや公共施設の駐車場を調整池として利用していくという考えはありませんか。

答 洞川の調整池につきましては、用地買収を予定していましたが、県からの補助内示を受ける事が出来なかつたので、来年度、再度補助要望を行うつもりです。公共施設のグラウンドや駐車場を調整池として利用する件ですが、県と伊豆の国市において策定した「狩野川中流域豪雨災害対策アクションプラン」の中で位置づけられていますので、今後検討を加え施策を実施していきます。



雨水タンク

問 調整池につきましては、市民レベルで雨水タンクを設置することで小さな調整池を作ることとは可能です。市民と協働の防災事業として補助金をつけて実施出来ませんか。

答 「雨水を利用していただく」という事は、今後の大きな考え方と思います。これからの公共施設については、積極的に雨水利用出来るようなシステムをやはり作っていく事が必要ではないかと思えます。今後、検討課題として対応を図っていけるよう考えていきたいと思っております。

子育て支援・特別支援学級
拠点校化・ごみゼロ問題
後藤眞一

次世代支援行動計画について

問 女性の労働や生き方の選択を保障し、市が先頭に立つての積極的子育て支援は。

答 今後も積極的に支援を進めていく。子どもの視点に立った環境づくり、次代の親づくりとしての健全育成。子育ての相談体制の充実を図る。

次世代育成支援対策地域協議会において、定期的な評価・事業見直しで、進捗状況・新規事業等検討していく。地域に結びつくものを努力したい。

特別支援学級の拠点校化は

問 静岡県の特別支援学級
の拠点校化策は。

答 支援学級は、市内三中学校それぞれに、小学校は、中学校区に各一校ずつ設置。市の主体的判断で進め、子どもの将来のため教育環境整備が本質と心得ている。



※特別支援学級の拠点校化とは
静岡県が、財政的視点から、各市町の特別支援学級を拠点校化し、計画を立てるよう方針を打ち出した。支援学級の拠点校化とは、支援学級の設置を小学校は、中学校区に一校、中学校は市内に一校だけに設置しなさいとするもの。障がい児が地域の理解を失うなどの課題がある。

答 二四品目分別の徹底と、燃やせるごみの減量・ごみの資源化を呼びかけている。

環境課題解決のためにも市民の理解をいただき、料金の見直しや雑紙等の分別などの研究と、十分な説明・啓発をしていきたい。

また、堆肥化施設増設、堆肥の増産と普及啓発・廃食油回収と資源化等、平成三三年までに一〇%程度燃やせるごみを減少させたい。

ごみゼロ問題

問 ごみゼロの趣旨と将来
目標は。



堆肥化施設・農土香 (浮橋)

第一次伊豆の国市総合計画の進捗状況について

土屋 紀男

問 前期基本計画の、事業総括は。

答 小中学校を初めとする教育施設の耐震化や、

福祉村第二期計画に今年度から着手、また、浸水対策整備の充実や、堆肥化センターの年内稼働等、前期計画全体としては概ね四割程度の進捗状況で順調に推移している。

問 未着手事業の、今後への取り組みは。

答 早期の実現を目指し、組織機構等の見直しを

行い、進捗のスピードを上げ、各部所が実施していないと判断出来たのであれば、後期計画に引き継いで行く。

問 後期計画での財源確保について。

答 施策を実施する為の、資源として重要な位置

を占める財源の確保は、財政計画とのバランスを考慮しながら取り組んで行きたい。

中国富裕層向けメディカルツアーについて

問 実施に向けての、進捗状況は。

答 市・観光協会・伊豆保健医療センターとの協

議を重ね、現地旅行エージェント向けにパンフレットを作成したり、現地旅行者を訪問したり、検診内容紹介のDVD映像等積極的な宣伝活動を行っている。

問 ツアーの内容並びに、受け入れ施設は。

答 基礎的検査から・心電図・超音波・内視鏡・

体内を精密に調べるコンピュータ断層撮影装置検査等がメニューである。また、伊豆保健医療センター・矢田レディースクリニック・順天堂静岡病院と、宿泊施設では、

伊豆長岡温泉の三つの旅館が、受け入れを表明している。



血圧測定

旧スポーツワールド跡地の活用について

鳥居 松彦

問 旧スポーツワールドの土地取得等に関する全体的な必要経費は。

答 市有地の旧慣使用権廃止補償が約九億二〇〇〇万円、及び立木補償として約七〇〇〇万円。個人の方々からお借りしていた土地の借

地料が約四億一〇〇〇万円。和解金等裁判関係で約一億五〇〇〇万円。個人の方々の土地購入経費として約五億一〇〇〇万円。建物等の取り壊し費用に約一億七〇〇〇万円。

北江間財産区の旧慣使用権廃止補償や立木補償が約一億八〇〇〇万円。これらを全て合算すると約二四億一〇〇〇万円となる。

問 多額の公金が投入されているが、跡地の具体的な事業計画は。

答 広大な敷地を一団の土地として造成ができ、民間への売却も視野に入れ、

様々な活用が考えられる。基本的に伊豆の国市の発展に繋がるような開発用地として検討している。

問 隣接地に焼却場があり、現在進行中の広域ゴミ

処理施設が、企業誘致などに支障がないということから、できれば、温水利用などの付加価値を付けることで、より企業誘致が有利になるのではないか。

答 障害にならないように、新焼却施設を計画していく。多額の費用が掛っている。後世の人たちに後ろ指をさせられないような施設を造る。



旧スポーツワールド跡地整地作業

委員会の報告

9月定例会では、3常任委員会に付託された平成21年度決算認定と、条例改正の制定等についての報告です。

総務委員会

平成二二年度一般会計歳入歳出決算の認定について

■歳入約二〇三億円、歳出約一九〇億円の多額決算額は

定額給付金、大仁中学校・

長岡・田京・共和幼稚園建設

費、および生活保護費増額等

による。

■国庫支出金・市債の状況は

国庫支出金は約二四億三〇

〇〇万円、市債は約七億七〇

〇〇万円の増額。一般会計の

市債残高は、五億三〇〇〇万

円増額(いずれも前年度比)。

一般会計の市債の合計は、

平成二二年度決算時では、一

六四億九〇〇〇万円で、合併

当初より七億八〇〇〇万円減

額となっている。

■市税収納状況について

平成二二年度滞納繰越分は、

一億三六九一萬一〇〇〇円で、

収納率は二二%。

二二年度より、「新たな滞

納者を増やさない」ため、電

話催促等を行い、滞納額を減らす努力をしている。

■中山間地まちづくり事業の

浮橋地区周辺図作成業務とは

浮橋・田原野地区周辺活性

化振興策として中山間地構想

を立て、温泉資源を生かせる

いかと取り組む。

予定地域の農用地等法規制

の現状確認の視覚化を図った。

■基金残高は

福祉対策基金は取り崩して、

前年度比約一億三〇〇〇万円

減額。財政調整基金は、前年

度比約四〇〇〇万円の増額。

平成二二年度国民健康保険

特別会計歳入歳出決算の認定

■国民健康保険の現況は

高齢者・離職者等保険税負

担能力の弱い方々の加入割合

が高く、後期高齢者医療制度

ができたが、全国的に国保財

政が危機的である。

■保険税引き上げの効果は

引き上げと同時に、軽減割

合を改正して低所得者層の負

担軽減を図り、最小限の引き

上げであった。

歳入歳出差し引き額は、四

三〇三万七〇〇〇円の黒字で

あった。

■保険税収納率低下の対策は

景気低迷の影響で収納率が

低下したため、休日・夜間等

の納税相談など収納対策に取

り組み、財源確保をした。

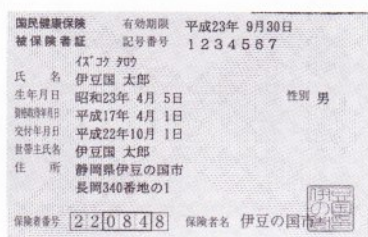
また、給付費の適正化を図

るため、保険事業特定検診・

保健指導・電話健康相談・人

間ドック等)の推進で健康意識

の高揚に努めた。



国民健康保険被保険者証

平成二二年度後期高齢者

医療特別会計歳入歳出決

算の認定

■保険料の納付等については

制度設立当初から批判が

あり、軽減の拡大や納付の

選択性など繰り返し改正さ

れた。全国統一内容で、保険

料は公平な負担で、県で設

置された広域連合が運営し

ている。

■市部設置条例の一部を改正

する条例の制定について

■改正のねらいは

①地方主権の推進による制

度見直し・権限移譲等、社

会情勢の大きな変化に対

応するため。

②職員の削減と事務量の増加

と、市民の多様なニーズへ

の対応等、課内室の設置な

ど組織の効果的・効率的な

機能と、戦略的施策の推進

ができる体制づくりのため。

■改正の内容は

八部二局一管理者二支所一

〇部長を、七部二局一管理者

二支所九部長とする。

執務場所の変更も考えて

いる。

観光建設委員会

平成二二年度一般会計歳入歳出決算の認定について

■工事請負、原材料等の購入の市内発注は

工事の関係で、市外業者もありますが、修繕、工事、原材料等の購入については、基本的には市内業者を優先し発注している。

■急傾斜地の工事負担率は 基本的には県の事業であり、県の負担条例により市の負担率は五％～一〇％です。

■橋梁長寿命化事業の内容は

昨年度から実施している事業で、橋を掛け替えると事業費が非常に多額になるので、今ある橋を少しでも長持ちさせるため点検調査を行うもので、平成二五年度まで計画を作成することになっている。

■都市計画管理事業の土砂災害危険箇所データ等構築業務委託料は

平成一九年三月に告示された土砂災害の警戒区域の位置情報を入力することを委託している。

■不法投棄の状況は

大量に投棄されるケースは減少傾向にある。特に家電（TV・洗濯機・冷蔵庫）は増加している。

■市役所で認証取得した工コアクション21の成果は

二酸化炭素削減で掲げた、九％の目標値を達成し、確実に職員の意識が変わっている。

■安全・安心・健康のまちづくり事業の堆肥の製造と配布先は

堆肥は春秋に約一〇t〜一五t製造し、普及啓発として、リサイクル祭りや収穫祭、苺祭り等にイベントで無料配布している。

■芸術文化振興事業の公演委託料は

アクシス、時代劇場にて行う九事業の委託料は、三二五七千七百七十四円です。

平成二二年度簡易水道等事業特別会計歳入歳出決算の認定について

■水道使用料の滞納件数は 二三四件です。

■山間地域水道計画の對象地域は

大仁地区にある浮橋、田原野、茅野、長者ヶ原、板橋、田中山、小室、後山、の簡易水道である。

平成二二年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

■有収下水量の減少は

水道使用量⇓下水道使用量ですので、水道の使用量が減ったことが一つの原因です。

平成二二年度上水道事業会計決算の認定について

■四日町〜南江間付近における共同施工工事の総額は

平成二〇年繰越事業で、平成二一年九月三日竣工で事業費は、一億六五〇七千七百九十四円です。

伊豆の国市簡易水道等事業の設置等に関する条例及び伊豆の国市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

■水道料金の改正について

市民への周知はパンフレットやリーフレット、広報誌などで各戸に知らせていく。

■水道料金の改正に伴う陳情書の人数は

一三八五名の署名で、大仁地区一一三九名、長岡地区一一三名、葦山地

区一二九名、地区不明が四名でした。

■水道料金の見直しは

今回は、旧時代の水道料金のままであったので、市全体の均衡、統一を図ろうとするものである。整備計画や水道ビジョンを基に設定するものであるので今後見直しもあり得る。

■長岡で使用している水源は

神島水源はそのまま使用する。天野水源は有事の際の予備水源として管理する。江間、千代田水源は廃止していきます。



神島水源

福祉文教委員会

平成二十一年度一般会計

歳入歳出決算の認定

■世帯類型別生活保護の状況は

高齢者世帯一九七世帯、母子世帯一五世帯、傷病・障害者世帯一〇三世帯、その他三世帯、合計三三八世帯。

■生活保護費の状況は

生活扶助一億九二〇九万六千七百四円、住宅扶助一億一〇三万八千四百四十二円、教育扶助二九一萬八千六百五十五円、医療扶助四億一三三四万五千四百七十七円、介護扶助一五二五万三千八百六十二円、葬祭扶助五八万〇三百六十八円、生業扶助三二〇万二千五百七十五円、施設入所者等措置費扶助一〇九八万一千七百三十三円、法外援護二一萬八千〇五〇円合計七億四九百九十七万八千〇六十三円。

■高齢者福祉サービスの状況は

①配食サービス事業

利用者に栄養バランスのと

れた食事を配達するとともに、安否確認をする。対象者は概ね六五歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害・疾病等の理由により、調理が困難で栄養管理のための支援が必要な者。述べ人数八九五人、配食回数計一万三五九四食。決算額六一万七千三百〇〇円。

②家族介護用品支給事業

要介護状態になった高齢者等に、紙おむつなどの介護用品を低価格で支給する。対象者は「介護認定要介護度1」以上の概ね六五歳以上の在宅高齢者及び重度障害者で、常時紙おむつを使用している者。利用者三八一人、決算額六二〇万六千二百八十一円。

③緊急通報システムサービス事業

緊急通報システム（ボタンを押すだけで、連絡のできる機器）の設置と助成。対象者は概ね六五歳以上の在宅の単身若しくは高齢者のみの世帯、

または、これに準ずる世帯。高齢者で老衰・心身の障害・疾病等の理由により、日常生活で緊急状態の対応に不安がある者。実利用者数一八七人、決算額四〇二万二千七百六十五円。

④タクシー利用助成事業

高齢者が利用するタクシー及びバスの利用料金の一部を助成することにより、高齢者の生活圏の拡大と社会参加の促進を図る。対象者は当該年度の初日において七五歳以上の者。交付人数四三四六人使用枚数三五万七千五百三十七枚、決算額三五五万三千七百〇〇円。

■がん検診の状況は

区分	対象者(人)	受診人数(人)	受診率(%)
胃がん検診	14,386	3,630	25.2
大腸がん検診	14,386	4,565	31.7
肺がん検診	13,712	5,250	38.3
乳がん検診	8,739	3,178	36.4
子宮がん検診	10,766	3,507	32.6
前立腺がん検診	4,741	2,247	47.4

※対象は胃・大腸がん=35歳以上、肺・乳がん=40歳以上、子宮がん=20歳以上、前立腺がん=50歳以上

■中学校（大仁中学校）建設費は

予算現額一億六千八百三十五万九千九百四十二円、支出済額一億六千九百七十四万四千〇〇円、継続費繰越額二億三千八百五十七万二千〇〇円。

■幼稚園建設費は

予算現額二億六千六百六十一万〇〇〇円、支出済額一億九千四百五十一万八千〇〇〇円、繰越明許費七千〇六万七千〇〇〇円、不用額五〇七万八千八百〇〇円。

①長岡幼稚園建設事業

事業費二億八千九百五十二万四千円、建築設計業務委託料一億九千二百八十三万五千〇〇〇円外。

②共和幼稚園建設事業

事業費六千二百四十七万六千九百九十二円、測量業務委託料二千三百五十五万五千〇〇〇円外。

③田京幼稚園建設事業

事業費一億五千三百七十七万二千七百七十七円、用地購入費一億〇七百九十九万七千七百七十七円、建築設計業務委託料一億三千八百八十八万〇〇〇円外。

■堀越保育園建設事業費は

予算現額九千六万五千〇〇〇円、支出済額八千三百七十五万〇〇〇円、移転候補地農用地除外申請等委託料四十二万〇〇〇円外。

介護保険特別会計

歳入歳出決算の認定

■介護認定者の内訳は

要支援・要介護の認定者数 (単位:人)

年度	平成20年度		平成21年度		
	合計	1号被保険者		2号被保険者	合計
65歳~74歳		75歳~			
要支援1	122	19	98	6	123
要支援2	275	37	208	13	258
要介護1	205	39	248	8	295
要介護2	283	30	247	8	285
要介護3	342	38	255	17	310
要介護4	273	34	254	10	298
要介護5	195	38	156	9	203
合計	1,695	235	1,466	71	1,772

平成22年 第3回(9月)伊豆の国市議会定例会

9月定例会は9月1日から28日までの28日間の会期で行われ、条例の一部改正、平成21年度伊豆の国市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定、平成22年度補正予算、専決処分報告、道路認定等について審議・可決された。

議案等一覧

- ◆伊豆の国市部設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆伊豆の国市長岡総合会館の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆伊豆の国市葦山文化センターの設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆伊豆の国市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆伊豆の国市簡易水道等事業の設置等に関する条例及び伊豆の国市上水道給水条例を改正する条例の制定について（旧3町の水道料の統一を図るための改正である）
- ◆伊豆の国市めもと湯の館の設置、管理及び使用料に関する条例を廃止する条例の制定について（高齢者の福祉的施設への移行するための条例の廃止である）
- ◆平成22年度伊豆の国市一般会計補正予算（第3号）
- ◆平成22年度 特別会計補正予算
〔国民健康保険（第2号）・後期高齢者医療（第1号）・老人保険（第1号）・介護保険（第2号）・楠木及び天野揚水場管理（第1号）・簡易水道等事業（第2号）・下水道事業（第2号）〕
- ◆道路の路線の認定について（三福・南條地先）
- ◆平成21年度伊豆の国市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ◆平成21年度特別会計歳入歳出決算の認定について
〔国民健康保険・後期高齢者医療・老人保険・介護保険・楠木及び天野揚水場管理・簡易水道等事業・下水道事業〕
- ◆平成21年度伊豆の国市上水道事業会計決算の認定について
- ◆専決処分報告について（損害賠償の額の決定及び和解）
- ◆平成21年度決算における伊豆の国市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について（本市においては、問題なし）



万灯練供養

▶▶▶ 次回議会の予定 ▶▶▶

平成22年 第2回臨時会 11/30

平成22年 第4回12月定例会

日程予定

12/2 議会初日

12/3.6.7 一般質問

12/17 最終日

編集後記

小学生の頃、友人の父親が歴史に詳しい教師で、山木遺跡の発掘現場を見学したり、江川邸の「忍」の額が掛けてある和室で、硯箱を見せてもらったりした事があった。

これが、歴史に関心を持つきっかけになり、友人と三人で郷土研究部を立ち上げ、町の史跡巡りをした。

葦山に生まれ育ち半世紀、遺跡に囲まれた生活が日常であった頃と、さほど変わらない風景は、幸か不幸か。

今も、お宝の山は静かに眠っている。
(天)

議会だより 特別委員会

委員長	後藤 眞一
副委員長	鈴木 平一郎
委員	天野 佐代里
鈴木 天	鈴木 照久
鈴木 木	鈴木 幸雄
鈴木 成	鈴木 成男